

(6) 実用発電用原子炉施設における放射性廃棄物管理の状況

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 (3Hを除く)	ドラム缶	その他の	ドラム缶	その他の	貯蔵設備 容量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 ヨウ素 [¹³¹ I] (Ci)		発生量 (本)	種類 の 発生量 (本相当)	種類 の 発生量 (本)	種類 の 発生量 (本相当)	
日本原子力発電(株) 東海発電所	原子炉施設合計	3 6.3×10	-5 8.4×10	-3 1.8×10			*4 176	*4 136	約1,600
	年間放出 管理目標値	4 1.6×10		1	1,056	499			
日本原子力発電(株) 東海第二発電所	原子炉施設合計	0 1.0×10	-3 1.9×10	*3 N.D.			*5 33,810	*6 8,444	約73,000
	年間放出 管理目標値	4 3.9×10	0 1.6×10	1	2,244	780			
日本原子力発電(株) 敦賀発電所	原子炉施設合計	-2 7.0×10	-5 3.5×10	-4 3.0×10			*7 26,188		約85,000
	年間放出 管理目標値	4 7.9×10	0 2.5×10	2	4,136	312		7,584	
東北電力(株) 女川原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.					約15,000
	年間放出 管理目標値	4 3.8×10	0 2.3×10	0.1	1,384	0	4,756	0	
東京電力(株) 福島第一原子力発電所	原子炉施設合計	0 5.2×10	-4 9.5×10	-4 1.8×10			*8 247,198	150	約298,000
	年間放出 管理目標値	5 2.4×10	1 1.3×10	6	9,379	0			
東京電力(株) 福島第二原子力発電所	原子炉施設合計	-5 9.2×10	-7 3.1×10	*3 N.D.			*9 8,979	0	約32,000
	年間放出 管理目標値	5 1.5×10	0 6.4×10	4	1,394	0			
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	*3 N.D.					約15,000
	年間放出 管理目標値	4 3.2×10	0 1.6×10	1	393	0	1,672	0	
中部電力(株) 浜岡原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	-5 1.8×10	-4 3.9×10			*10 25,325	3,192	約42,000
	年間放出 管理目標値	5 1.1×10	0 7.4×10	3	988	968			
中国電力(株) 島根原子力発電所	原子炉施設合計	*1 N.D.	*2 N.D.	-4 2.2×10			*11 19,245	1,516	約35,500
	年間放出 管理目標値	4 3.7×10	0 1.8×10	1	1,165	277			

- *1 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。
- *2 検出限界濃度は 2×10^{-13} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。
- *3 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$) 以下である。(^{60}Co で代表した。)
- *4 東海第二発電所への移送分を除く。
- *5 東海発電所からの搬入分(11,292本)を含み、今年度焼却分(2,222本)を差引いた量である。
- *6 東海発電所からの搬入分(5,028本相当)を含む。
- *7 今年度焼却分(2,721本)を差引いた量である。
- *8 今年度焼却分(1,869本)を差引いた量である。
- *9 今年度焼却分(1,296本)を差引いた量である。
- *10 今年度焼却分(2,940本)を差引いた量である。
- *11 今年度焼却分(1,773本)を差引いた量である。

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物			放射性固体廃棄物						
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 (3Hを除く) (Ci)	ドラム缶	その他の	ドラム缶	その他の	貯蔵設備 容量 (本相当)	
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 ヨウ素 [¹³¹ I] (Ci)		発生量 (本)	種類の 発生量 (本相当)	累積 保管量 (本)	種類の 累積 保管量 (本相当)		
関西電力(株) 美浜発電所	原子炉施設合計	1 2.5×10	-4 1.0×10	-4 4.7×10	1,160	106	*3 21,311	*4 1,953	約35,000	
	年間放出 管理目標値	4 5.9×10	0 2.0×10	3						
関西電力(株) 高浜発電所	原子炉施設合計	1 1.3×10	-5 7.2×10	-5 7.2×10	854	96	26,918	*	381	約50,600
	年間放出 管理目標値	4 9.0×10	0 1.7×10	4						
関西電力(株) 大飯発電所	原子炉施設合計	1 4.1×10	-5 4.2×10	-4 1.2×10	615	125	*5 15,153	1,841	約28,900	
	年間放出 管理目標値	4 7.3×10	0 2.2×10	2						
四国電力(株) 伊方発電所	原子炉施設合計	-1 2.0×10	*1 N.D.	*2 N.D.	1,536	147	*6 7,200	*7 1,749	約18,500	
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	0 2.0×10	2						
九州電力(株) 玄海原子力発電所	原子炉施設合計	1 2.8×10	*1 N.D.	*2 N.D.	646	98	*8 13,662	1,481	約19,000	
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	0 2.0×10	2						
九州電力(株) 川内原子力発電所	原子炉施設合計	0 1.1×10	*1 N.D.	*2 N.D.	865	0	*9 1,562	17	約17,000	
	年間放出 管理目標値	4 4.4×10	0 1.7×10	2						

*1 検出限界濃度は 2×10^{-13} ($\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$) 以下である。

*2 検出限界濃度は 5×10^{-7} ($\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$) 以下である。(^{60}Co で代表した。)

*3 今年度焼却分(15本)を差引いた量である。

*4 今年度圧縮減容量(2,463本相当)を差引いた量である。

*5 今年度焼却分(80本)を差引いた量である。

*6 今年度焼却分(1,341本)を差引いた量である。

*7 今年度圧縮減容量(81本相当)を差引いた量である。

*8 今年度焼却分(1,932本)を差引いた量である。

*9 今年度焼却分(268本)を差引いた量である。

*前年度末累積保管量に当該年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。